

標 題 : Influence of Phenol-Enriched Olive Oils on Human Intestinal Immune Function
ヒトの腸内免疫機能に対するフェノール強化オリーブ油の影響

著 者 : S. Martín-Peláez, et al. (スペイン Hospital del Mar Research Institute
(IMIM) REGICOR 研究グループ 心臓血管系リスク・栄養研究グループ)

掲 載 誌 : Nutrients. 2016 Apr 11; 8(4): 213

要 旨 :

オリーブ油(OO)のフェノール化合物(PC)は、消化管の微生物個体群および代謝産物に影響できる。

我々の目的は、これらの化合物と変化が粘膜の免疫系に影響するかどうかを研究することであった。

ランダム化対照比較、二重盲検、クロスオーバーヒト試験で、2週間のウォッシュアウト期間後の3週間に、10人の高コレステロール血症被験者が、そのフェノール化合物濃度および起源が異なる3種類の生のバージンオリーブ油を25mL/日摂取した：(1)フェノール化合物を80mg/kg含有するオリーブ油(VOO)；(2)オリーブ油由来のフェノール化合物を500mg/kg含有するフェノール化合物強化オリーブ油(FVOO)；および(3)オリーブ油およびタイムから由来する混合フェノール化合物を500mg/kg含有するフェノール化合物強化オリーブ油(1:1、FVOOT)。

腸の免疫（糞の免疫グロブリンA(IgA)およびIgA被覆細菌）および炎症性指標（C-反応性タンパク質(CRP)および糞のインターロイキン6(IL-6)、腫瘍壊死因子 α (TNF α)およびカルプロテクチン)を分析した。

FVOO含有によるオリーブ油フェノール化合物の高い量の摂取は、IgA被覆細菌の比率を高めて血漿のCRP値を高める傾向であった。

しかし低い量のオリーブ油フェノール化合物(VOO)および2種類の原料によるフェノール化合物の組み合わせ(FVOOT)は、調べた変数に有意な影響を示さなかった。

非常に高い投与量のオリーブ油フェノール化合物による免疫系の刺激の可能性を結果が示しているため、さらに研究すべきである。

キーワード : オリーブ油、フェノール化合物、腸内微生物相、粘膜免疫、炎症、IgA被覆細菌
